



【1】 一種研開催報告

2025年8月の一種研を8月28日(木)~29日(金)の2日間にわたって東北工業大学で開催しました(写真1)。昨年度は8月が休会でしたが、今年度は10月にISAP2025が開催されるため10月のAP研は休会となり、代わりに8月に開催となりました。今回は、一般講演13件、AP研チュートリアル講演1件、IEEE AP-S Tokyo Chapter特別講演1件で合計15件の講演がありました。

AP研チュートリアル講演では、東北工業大学の北先生に「飯館惑星電波望遠鏡のUHF帯広帯域受信素子開発」と題して講演いただきました。太陽電波や惑星電波の低周波観測(1GHz以下)についての基礎知識をわかりやすく説明していただき、飯館惑星電波望遠鏡の低周波観測用の受信アンテナとして広帯域なログペリオディックアンテナやSinuousアンテナの開発結果についてお話いただきました(写真2)。

IEEE AP-S Tokyo Chapter特別講演では、東北大学の末松先生に「日本版LEOコンステレーション衛星通信実現に向けたQ/V帯DBFアンテナ及びダイレクトデジタルRF送受信機の研究開発」と題して講演いただきました。LEO衛星に搭載するデジタルビームフォーミングアンテナに関して、RF部のデジタル化が進んでいることや、ユースケースやシステム全体をふまえてアンテナ構成を見直すことで電力削減や演算量低減などが可能となることなど、とても学ぶところの多いご講演でした(写真3)。



写真1 一種研会場
(東北工業大学)



写真2 AP研チュートリアル講演
(左から、今井委員長、北先生)

【2】 AMT研開催報告

7月31日(木)に北海道大学でAMT研究会が開催されました(写真4)。涼しい北の大地で熱い議論を期待していましたが、議論だけでなく気温のほうも暑かったです。今回は全部で7件の発表があり、遠方にもかかわらず17名の方に参加いただきました(4名はオンライン)。夜は下名も初のちょっとおしゃれなジンギスカン屋さんにて親睦を深めました。また、北海道大学の日景先生のご協力により、ワイヤレス情報通信研究室の見学会も実施させていただきました(写真5)。大規模シミュレータやEMI評価装置などを見学させていただき、社会課題に直結している研究の内容をご紹介いただきました。研究会運営に協力いただいた方々、参加いただいた方々、ありがとうございました。(AMT研深沢委員長執筆)



写真3 Tokyo Chapter 特別講演
(左から、今井委員長、末松先生、
Tokyo Chapter 高橋委員長)



写真4 AMT研究会
(北海道大学)



写真5 AMT研究会 見学会
(北海道大学 ワイヤレス情報通信研究室)

【3】お知らせ

◆ISAP2025

2025年10月27日(月)～10月31日(金)の期間、2025 International Symposium on Antennas and Propagation (ISAP2025)がアクロス福岡にて開催されます。ISAP実行委員会では、開催に向けて最終的な準備を進めています。早期登録の期限は過ぎてしまいましたが、聴講参加をご希望の方はぜひ登録をお願いします(<https://www.isap2025.org/>)。

◆第6回電波伝搬モデリングコンペティション

学生や若手技術者の伝搬モデリングスキルの向上と電波伝搬に関する技術分野の一層の活性化を図るために第6回電波伝搬モデリングコンペティションが実施されます。今回は、少数のサンプルデータからエリア全体の面的な電波伝搬損失を推定するための空間補完モデリングを課題としています。推定手法の推定精度および独創性を競うものとなっていますので、ぜひ挑戦してみてください。申込締切は、2025年11月10日(2026年1月AP研発表申込締切日)までです。

(https://www.ieice.org/cs/ap/compe_prop6/)。

【4】副委員長の戯言

◆仙台名物

今回の8月AP研の初日は午後からの開催だったので、11時頃に仙台駅に着いてすぐ昼食をとることにしました。新幹線の改札口を出たところに「牛たん通り」という牛たん専門店が並んだ通りが駅内にあります。すでに10人以上並んでいる人気店もありましたが、時間も無いのですぐ入れる店に入り、牛たん焼きをおいしくいただきました。後から聞いたのですが、仙台牛たんは、ほとんどの店で外国産を使用しており、仙台牛たんの特徴である柔らかい厚切りの牛たんは外国産が適しているそうです。そして、もともとアメリカ産の牛たんを使った料理法として牛たん焼きが考案され、仙台名物となったということです。

◆夏休みの理科研究(クイズ)

学校は、夏休みも終わり新学期が始まりました。私の娘(中2)が夏休みの理科研究で、骨が飲み物でどのくらい溶けるか実験を行いました。骨は、鶏の手羽中の骨を使用し、飲み物は、①水、②炭酸水、③コーラ、④スポーツ飲料の4種類を用意しました。密閉できる容器に骨を入れて飲み物を注ぎ、20日間で骨の重さに変化するか調べました(飲み物は毎日新しいものに取り換えます)。4種類の飲み物の中で、骨を溶かす飲み物の順番はどうなると思いますか？また、どれくらい骨が溶けると思いますか？答えは次号でお伝えします。

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 大島 一郎(電気興業)

E-mail : ap_ac-chair@mail.ieice.org (A・P研執行部のメールアドレス)

AP-NET : A・P研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はA・P研HPにて

A・P研HP : <https://www.ieice.org/cs/ap/>

